

阿弥陀堂修復情報

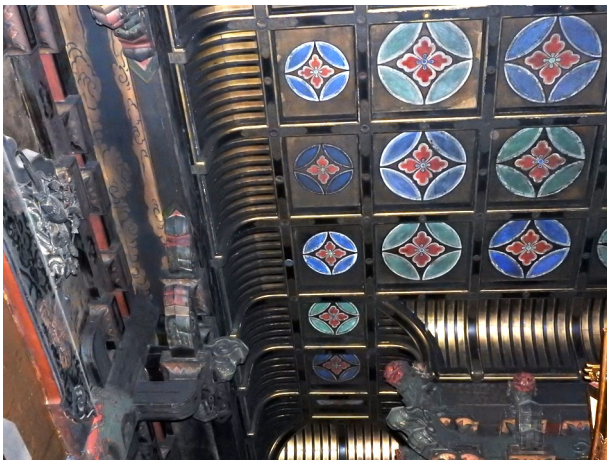
ない じん ごう てん じょう 内陣格天井

・内陣格天井の修復が終了しました 2021.3.31

阿弥陀堂修復では、南北両余間の格天井に引き続き、内陣格天井の修復も終了しました。内陣の格天井は、両余間と違い、周囲の部分を高く持ち上げた折り上げ格天井おあごうてんじょうで作られています。格天井の鍔金具も、墨で色付けが施されるなど格式の高さが表されています。

また、天井画にも違いがあり、南北両余間には波しぶきが描かれています。内陣の天井画は七宝文しっぽうもんが描かれています。

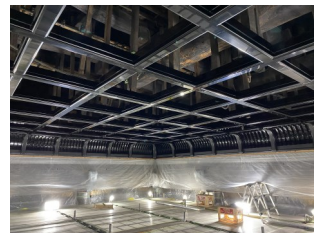
内陣格天井の修復が終わり、阿弥陀堂修復は現在、長押や柱部分の漆、金箔修復を中心行われています。



▲ 修復前



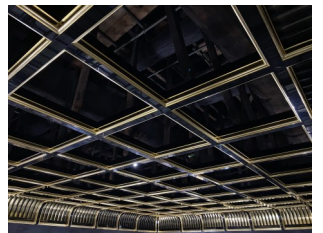
▲ 漆塗作業



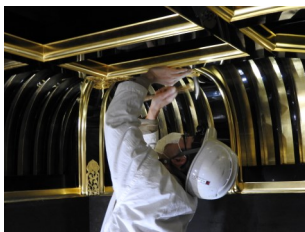
▲ 漆塗後



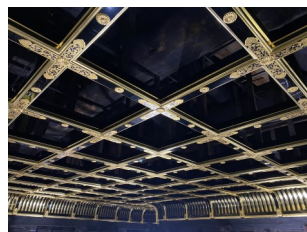
▲ 箔押し作業



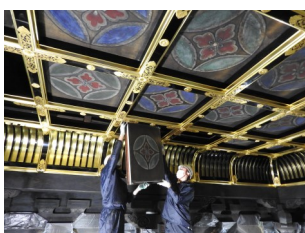
▲ 箔押し後



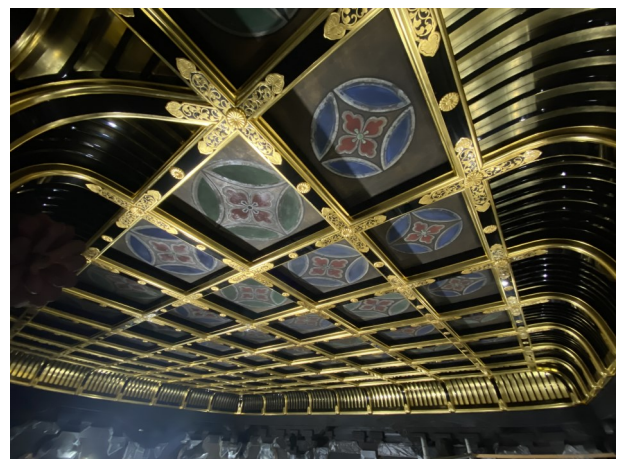
▲ 鍔金具取付作業



▲ 鍔金具取付後



▲ 天井画取付作業



▲ 修復完了